

第63回全国肢体不自由教育研究協議会
第1分科会 話題提供

日々の授業づくりを出発点とした
教育課程改善の試み

～「カリキュラム・マネジメント真駒内Version」の構築に向けた取組～

平成29年11月16日(木)
北海道真駒内養護学校 教諭 小倉 靖範

研究背景と目的

研究背景

教育課程に関わる課題

- 学部間の教育課程の接続(連続性と独自性)
- 授業と教育課程改善のつながりの希薄さ

学校経営上の課題

- 協働する組織の基盤をつくる(チーム真駒内)

社会的背景

- 社会変化への対応
- 新学習指導要領

課題の解決に向けて…

「カリキュラム・マネジメント」の構築

研究目的(3カ年)

目的 ①

- 次期学習指導要領を見据え、社会とのつながりを大切にした小・中・高一貫性のある教育課程を実現する。

目的 ②

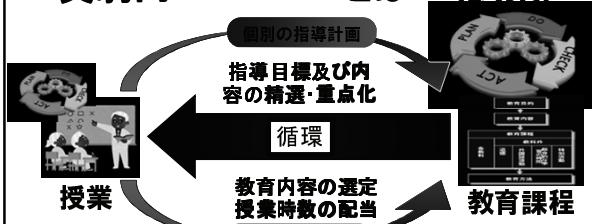
- 本校としての「カリキュラム・マネジメント」の仕組みを構築する。

研究のゴールは…

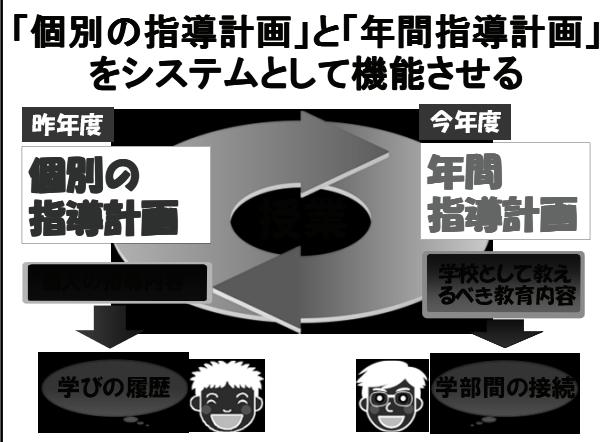
全教職員が、授業や教育の実物を説明できる！

「カリキュラム・マネジメント 真駒内Version」の検討

「カリキュラム・マネジメント 真駒内VERSIONとは？(試案)



個別の指導計画と年間指導計画をつなげる
小・中・高の年間指導計画をつなげる



校内研究の取組

校内研究がスタート！

【研究主題】

社会とのつながりを大切にした 教育課程を目指して

～日々の授業と教育課程の改善を
つなげるための仕組みをつくる～

研究計画

平成28年度

- 「課題関連図」の作成を通して、個別の指導計画における目標の妥当性を高める
- 研究授業の指導案・様式の工夫

平成29年度

- 「協働による授業設計」の取組
- ①自立活動の視点からの「課題関連図」の作成
- ②「年間指導計画」の見直し ③校内授業研究会

その1

H28年度の取組

「課題関連図」の作成から 見えてきたこと

実態把握から分析へ

「課題関連図」作成の手続き

STEP 1 事例対象児の選定（学年ブロック・学部ごとに）

履修する教育課程等を基に特徴的な児童生徒を抽出

STEP 2 「課題関連図」作成のプロセスを通じた共通理解

学部によって
観点が異なる？



担任を中心
にカテゴリー化



かかる人から
の事前情報収集

付箋の整理

関連を複数の
教師で検討

「課題関連図」を作成することで…

共有化 **見える化**

卒業後の望む姿を想定した付箋紙
→身に付けさせたい力が見えてくる

現在の実態や課題を記述した付箋紙
→教師間で捉え方が異なることも…

各教師の気づきの共有→教師間のやりとりの増加

H28年度の研究成果 ① **課題関連図より**

小学部 引き継ぎ資料として **高等部**

卒業後の姿をイメージしながら課題関連図を作成
生徒の現在の様子をピックアップ
暮らす 備く 葉しむ
卒業後に目指す姿

中学部

教科別 知識的 代わせた	・小学校低学年程度の内容 ・教科学習につながる基礎的な力を自立活動を通して育てる必要あり ・認知の特性に配慮した教科指導
教科別 知識的 代わせた	・知識的教科の内容をゆっくりと反復的に学ぶ ・教科指導を通して学習に向かう力を高めることが必要

開発する課題を整理する → 課題 課題 課題 ← 多立てについてほしい

自立活動を中心とした教育課程

卒業後に目指す姿を明確化
各グループで「育てたい力」が異なる！
生活年齢を教師が意識化

H28年度の課題 ① **課題関連図より**

課題1:何を「課題」に挙げれば良いのか？
課題2:「関連図」に学部間の違いが見られない

Why?

一般的には…

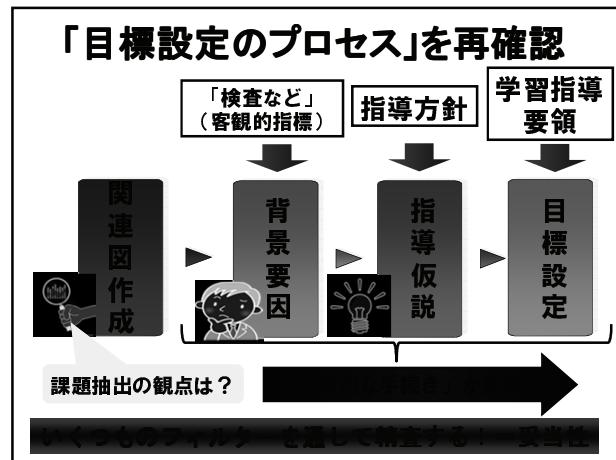
「現在の姿」

「めざす姿」

課題

重要

○ 年後を想定



その2 H28年度の取組

目標どうしの「関連」を見直すと…

目標の妥当性

H28年度の研究成果 ② **指導案の工夫より**

【個別の教育支援計画】
長期の支援目標：①
短期の支援目標：①
②

【個別の指導計画】
年間目標：①
②

【国語・算数（数学）の目標～後期～】
①……………（小1・国3）
*目標の中に、根拠とした学習指導要領の目標を記載する。

【開発する自立活動の目標】
①
②

【合った指導における関連目標】
*各教科・領域を合わせた指導は、どの教科や領域を合わせて指導しているのか、説明できなければなりません。
日常生活の指導：①
日常生活学習：①

国語・算数（数学）と自立活動の目標の関連を検討しているか

国語・算数（数学）・自立活動と合わせた指導のつながりを意識した目標設定をしているか

目標設定をして、目標達成のつながりを意識化する